

24-8

特17  
286

文學士土子金四郎君口述

國債論

第一

明治十八年三月印行

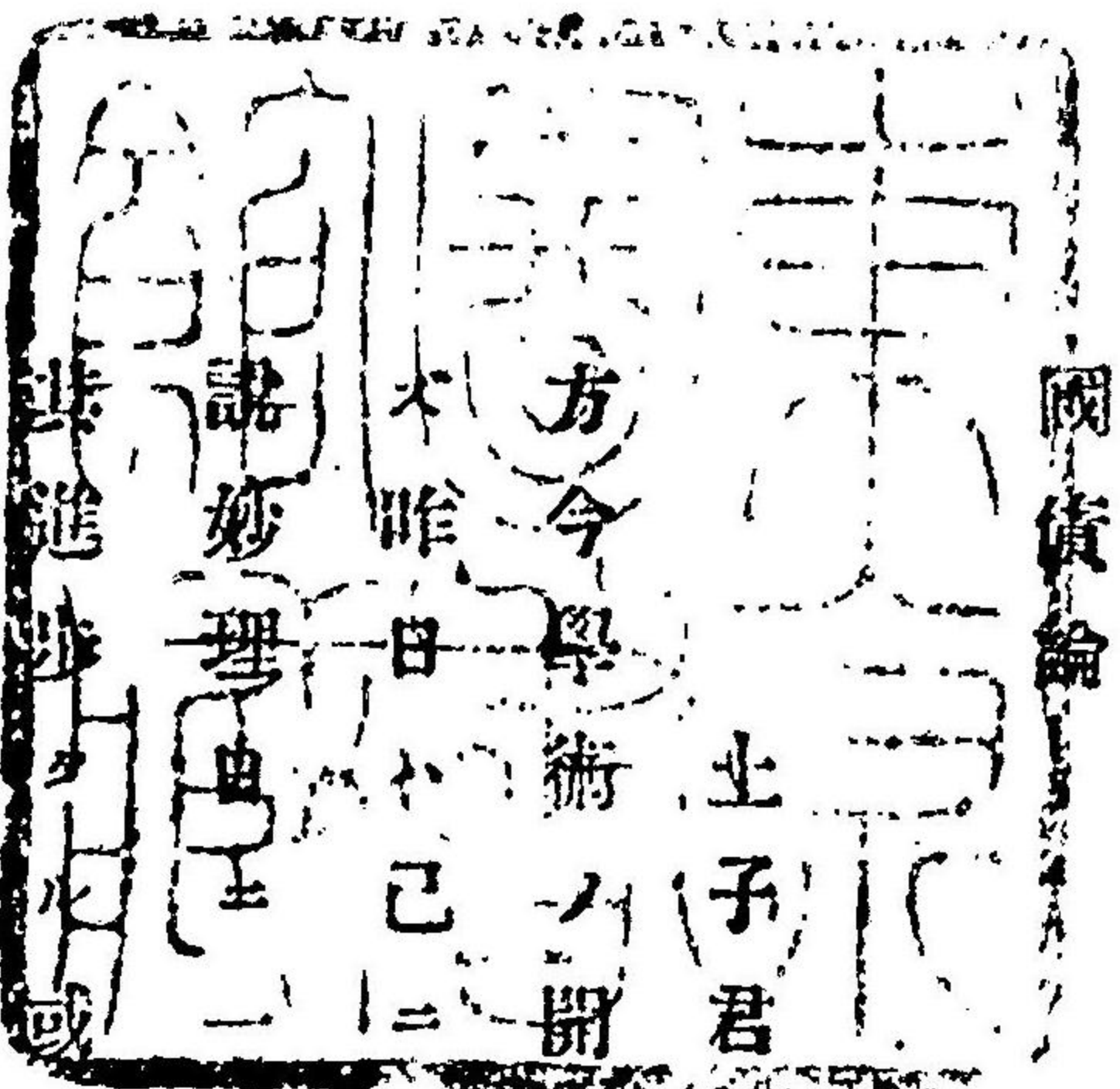


例言

一此書ハ毎金曜日國債局ニ於テ土子君ノ口述セラレタルモノヲ聽講者ノ爲メ印行スルモノナリ

一此書ハ概テ一章ヲ終ル毎ニ印行スルモノナレバ豫メ發兌ノ日ヲ定メス

筆記者誌



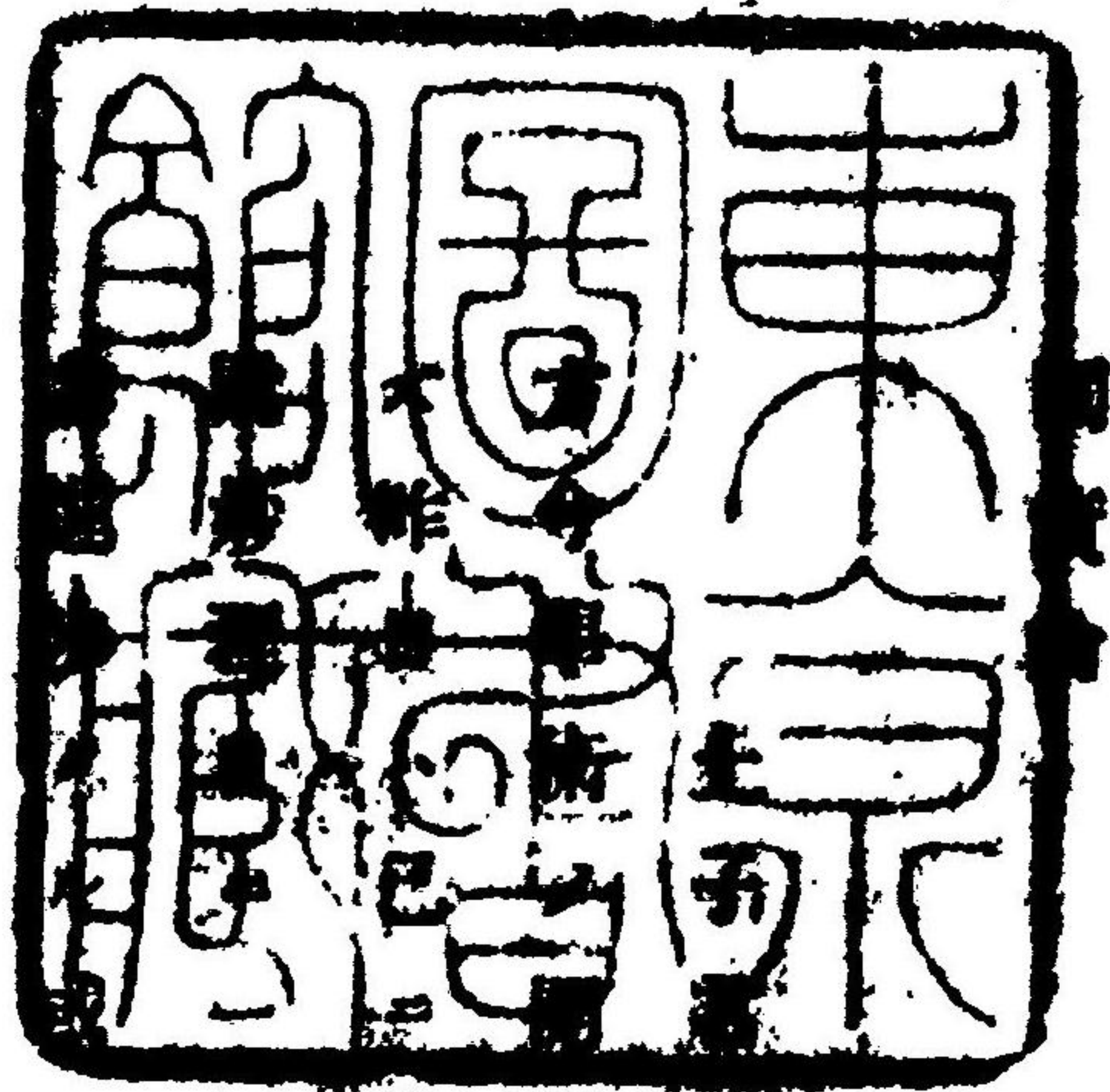
國債論

土子君序言

方今學術ノ開明日進月將駸々乎トシテ其止マル所ヲ知ラズ昨日ハ己ニ前日ヲ非トシ今日ハ又昨日ヲ陳腐トナシ新詭妙理由トシ一日ヨリモ風生泉涌ス豈ニ其レ盛ナラズヤ但

惟其財政ノ學ノ如キニ至テハ其發達モ近世ニ在リト雖モ其進歩ノ遲滯ナル予方今國家ノ爲ニ大ニ恨ムル所ナリ夫レ今日萬國虎視對峙ノ中ニ獨立不羈ノ幸榮ヲ維持セシトセハ國權ヲ張ラントセハ國力ヲ強フセザルベカラズ國力ヲ強フセントセハ兵力ヲ盛ニ





序言

明日進月將駭々乎トシテ其止マル所ヲ知ラ  
 前日ヲ非トシ今日ハ又昨日ヲ陳腐トナシ新  
 日ヨリモ風生泉涌ス豈ニ其レ盛ナラズヤ但  
 ハ甚ク速ナル者アリ甚ク速ナラザル者アリ

惟其財政ノ學ノ如キニ至テハ其發達モ近世ニ在リト雖モ  
 其進歩ノ遲滯ナル予方今國家ノ爲ニ大ニ恨ムル所ナリ  
 夫レ今日萬國虎視對峙ノ中ニ獨立不羈ノ幸榮ヲ維持セシ  
 トセハ國權ヲ張ラザルベカラズ國權ヲ張ラントセハ國力  
 ヲ強フセザルベカラズ國力ヲ強フセシトセハ兵力ヲ盛ニ



セザルベカラズ兵力ヲ盛ニセントセバ充分ノ軍備ヲ爲サザルベカラズ充分ノ軍備ヲ爲サントセバ則チ財政ヲ講求セズンバアルベカラズ此予財政學進步ノ速ナラザルヲ恨ムル所以ナリ嗚呼財政ノ學進マザレバ兵力大ナルヲ得ス兵力大ナルヲ得ザレバ國權ヲ張ルヲ得ズ國權張ラザレバ萬國虎視ノ中ニ在テ能ク獨立不羈ノ幸榮ヲ維持スルヲ得ンヤ財政ノ學タル其國ニ關係スル所其レ斯ク其レ大ナリ今ヤ此學ニシテ進步ノ遲滯ナル國家ノ爲メ歎スベキノ至ナラズヤ

財政ノ中ニ孰テ國債ノ如キハ其最モ緊要ナルナリ古來國債ノ爲ニ國家ノ危急ヲ濟ヒ又之カ爲ニ巨大ノ損害ヲ招キ

其害ヲ得ルナルベシ

夫レ國家一朝事起リ財政困難ノ時ニ方リ政府巨大ノ費用ヲ要スルニ際シ租税ノミヲ以テ之ニ供セントセバ貧民其重ニ堪ヘズ或ハ爲ニ竹槍席旗ノ難ヲ生ズルモ亦知ル可ラズ又爲ニ物産ノ繁殖ヲ害シ社會ノ發達ヲ妨ゲン縱令一時國家ノ危急ヲ濟フモ爲ニ其疲弊スルヲ如何セン又之ヲ寡集スルモ延期滯納等ヲ督責スルガ如キ其費用モ亦少ナカラズ且急速ノ用ニ供スルヲ得ザレバ必ズヤ通常國債若クハ不換紙幣ヲ發行セザルベカラズ其之ヲ發行スルニ當リ若シ其方法ヲ誤リ其宜キヲ失ハ、其害ヤ少小ニアラザルナリ



今大レ道路ヲ開鑿シ運河ヲ浚治シ鐵道ヲ布キ橋梁ヲ架スルガ如キハ後來永遠ノ巨利ヲ興スモノニシテ事業ノ大ナル到底政府ノ力ヲ假ラザルベカラザルモノナリト雖モ其費用ノ廣大ナル政府モ亦人民ヨ募ラザルヲ得ザレバ租稅ノミヲ以テ之ニ充テントスレバ前述ノ如キノ結果ヲ生ズベケレバ亦國債ヲ以テ之ニ供セザルベカラズ國債ヲ募ルヤ其方法宜キヲ得バ爲ニ非常ノ公益ヲ生レ國家ヲシテ永遠ノ利ヲ得セシメ其進歩發達ヲ助ルヲ大ナルベシ國債ノ要用ナル其レ斯ノ如シト雖モ財政學中國債ノ科ニ至テハ論者其進ヲ説キ其法ヲ講セシ者甚ダ稀少ナレバ其進歩ノ遲鈍ナル亦故アリトス嗚呼又不幸中ノ不幸ナラズヤ予常ニ此ニ憂ル所アリテ實テ大學ニ在ルヤ之ヲ講書ニ

獲涉リ又往々卑見ヲ加ヘテ以テ國債ノ科ヲ研究セリ爾テ今ヤ亦我石渡君ヲ始メ局ニ國債ノ事ニ從フノ諸君モ予ト感テ同フシテ共ニ研究セシメテ思ヒ淺學予ノ如キモノヲ棄テズ繁忙暇少ナキヲ顧ズ予ニ囑スルニ其講義ノ事ヲ以テス嗚呼諸君實ニ其職ニ在テ毫モ勞ヲ厭ハズ其任ヲ盡ス尙餘アリ又諸君已ニ老練ノ身ヲ以テ能ク後進ノ言ヲ聽キ其德ヲ垂ル、予大ナリ予諸君ノ厚意ヲ思ヘハ心骨肺肝ニ徹シ短才淺學ヲ願ルニ違ナク進テ予ガ學力ノ限リヲ盡シ以テ聊カ厚意ニ酬ヒントス諸君其レ教正ヲ辱フセバ幸甚々々

明治十七年十一月



國債論

文學士 土子金四郎君口述

第一章 國債ノ性質

國債ノ憲解

國債トハ何ツヤ曰ク一國政府ノ借財又ハ借財ニ屬スベキモノナリ則チ國家非常ノ事起リ公債証券ヲ發行シテ其費用ヲ募集スルガ如キ或ハ收支相當ラス一時ノ不足ヲ補フカ爲メ大藏省證券ヲ發スルカ如キ其他工事ヲ起スノ費用外國へ拂フノ債金等政府能ク其支出ヲナスベカラザルガ故ニ人民ヨリ借入ル、ガ如キ又ハ會社用達等ヨリ物品ヲ



買上ケ人夫ヲ備役シ其代價貨銀等ヲ借ルガ如キ若シハ財  
 政困難ヲ救フガ爲メ不換紙幣ヲ發行スルガ如キ等又所謂  
 借財コアラザルモ其仕拂ヒノ義務アルコト借財ト異ナル  
 コトナキモノ則チ給與年金償金年金預リ金保護金補助金  
 等ノ如キ凡テ政府借方ニ屬スルモノナリ

國債ノ名稱

國債トハ一國政府ノ負債ニシテ則チ其國ノ負債ナレハ國  
 債ト云フ時ハ其國民盡ク負債者タルガゴトク聞ユレドモ  
 所謂國債ハ大抵其國民ヨリ募ルモノニシテ則チ其國民中  
 債主タル者アリテ必シモ其國民盡ク負債者ナラザルガ故  
 ニ強チ一國ノ負債ト云フベカラズトノ疑ナキコト也  
 然レニ雖テ考フレバ其各自ガ貸出セシ分丈ケニ對

シテハ勿論債主ナレハ他ノ債主ガ貸出セシ分ニ對シテハ  
 一般國民ト同ク其負債者ナルヲ免カレズ例ヘバ國民中甲  
 ナル者ハ己ノ貸出セシ分ニ對シテハ債主ナレハ乙ナル者  
 ガ貸出セシ分ニ對シテハ一般國民ト共ニ負債者ニシテ  
 又乙ナル者ガ甲ナル者ニ對スルモ同シキガ如シ又縱令家  
 商ノ如キ者一手ニ國債ヲ貸出ストスルモ唯一個人トシテ  
 之ヲ見ルルハ債主ナレハ其國債ヲ負擔スル國ノ人民トシ  
 テ之ヲ見ルルハ又負債者ニシテ其國債ヲ償還スベキ義務  
 アルヲ猶他ノ一般國民ト異ナルコトナシ此故ニ政府其償還  
 ナナスニ當テハ彼等ニモ亦一般國民ト共ニ負債者視ノ債  
 還ニ充ツル爲メ幾分ノ稅ヲ課スルモノナリ然レハ乃チ債  
 主ニシテ又負債者ナレバ國民盡ク負債者ナリト云フモ妨ケ



ナシ國民盡ク負債者ナリト云フモ妨グナケレバ則チ國債ト云フモ亦妨ケナキモノナラズヤ

國債ト云フモ不都合ナキハ前述セシ如シト雖モ縱令債主モ亦一方ヨリ見レバ負債者ナリトスルモ國民中政府ニ貸出セル者アル以上ハ債主ハ則チ國民中ニアルモノナリ故ニ先キニ論ゼシガ如ク一方ヨリ之ヲ見レバ不都合ナケレバ又他方ヨリ見レバ少シク不都合ナキニアラズ加フルニ所謂國債中ニハ國民盡ク負債者ニシテ毫モ債主ナク異ノ國債ト稱スベキモノアレバ尙更不都合アルガ如シ其國民ニ債主ナキ場合ト云フハ所謂外國債ノ謂ニシテ則チ外國ヨリ借財スルモノヲ云フ此時ニ當リテハ債主ハ外國ニ在ルモノナレバ負債國ノ人民ハ盡ク負債者ナリ故ニ此場合

ニ於テノミ何レノ點ヨリ見ルモ國債ト云テ毫モ不都合ナキモノナリトノ説モアラソガ是前ニ論シタルガ如ク唯其一ヲ知テ其二ヲ知ラザルノ説ト云フベキノ

國債ノ起因

抑國債ノ起ル原因タル素ヨリ一ニシテ足ラズト雖モ畢竟スルニ大抵政府豫算ノ收入能ク其經費ヲ支フベカラザルニ職由スルモノナリ例ヘバ突然戰亂起ル或ハ外國ニ償金ヲ拂フニ當リ縱令少々ノ準備金アリトスルモ巨大ノ軍費償金ニ至テハ其支出ニ充ツル能ハザレバ一時不換紙幣ヲ發行スルカ又ハ公債證書ヲ發行シ或ハ銀行ヨリ現金ヲ借入ル、カ兎ニ角借財セザルベカラザル時ノ如キ又收支相當ラズ一時國庫ノ欠乏ヲ補フガ爲メ大藏省證券ヲ發スル



ガ如キ是ナリ

國債ノ因テ起ル基ハ大抵政府豫算ノ收入足ラザルニアレ  
ルニ必シモ然リトハ云ヒ難ク時トシテハ政府豫算ノ收入足  
ラザルニハアラザレハ財政上政治上ノ都合ニ因リ國債起  
ルコトアリ例ハハ秩祿ノ如キモノニシテ年々下渡スモノア  
ルニハ際シ其高ハ政府豫算ノ收入ヲ以テ仕拂フベカラザ  
ルニアラザルモ財政上又ハ政治上ノ都合ヲ以テ公債證書  
トナスガ如キ或ハ預リ全又ハ米國合衆國ノ恩給地所引換  
公債ノ如ク人民ノ望ム因リ時トシテ公債證書ヲ與フルガ  
如キ或ハ有功者會社等ニ年金補助金等ヲ下渡スガ如キ若  
クハ在來ノ國債ヲ引換又ハ借換ナル爲メ發行スルモノ  
如キ皆其起ル原因ナル必シモ政府豫算ノ收入足ラザルニ

在ラザルナリ

政府豫算ノ收入トハ其收入ノ額豫メ算定セラレ又其支出  
モ豫定セラレタルモノニシテ略限ナルモノナレハ單ニ  
政府ノ收入ト云ハ必シモ豫算ノ收入ニ限ラズ凡テ一般  
經常收入及非常收入ヲ包含スルモノニシテ國債ハ其非常  
收入ノ一ナリ而テ非常收入ノ特ニ起サルハ大抵經常收  
入足ラザルニアルモノナレハ國債ノ因テ起ル基ハ經常  
收入ノ不足ニ在リト云フベキ乎ト云フニ此場合ニ於テモ  
猶先ノ國債ノ因テ起ル基ハ必シモ豫算收入ノ不足ニアリ  
ト云フベカラザルト一般ニシテ決シテ國債ノ因テ起ル基  
ハ必シモ經常收入ノ不足ニ在リト云ヒ難ク如何トナ  
レバ經常收入足ラザルニアラザレハ國債起ルコトアレバナ



リ乞フ今少シク其理ヲ述ベシ抑經常收入ナルモノハ大抵  
 租稅ヲ以テ成立ツモノヨシテ前ノ豫算收入トハ異ナリ其  
 收入限メ限リアルモノヨアラズシテ稅率ヲ改メ賦課ヲ重  
 スレバ隨分何程コテモ收入ヲ得ルモノナレバ政府若シ巨  
 額ノ收入ヲ要セハ租稅ヲ増シテ以テ之ヲ徵收スベシ國家  
 ノ發達社會ノ進歩ヲ妨グルコトヲ願ルナクシテ舊稅ヲ重シ  
 新稅ヲ起シ以テ經常收入ヲ増加スルコトヲ得テ大抵ノ場合  
 ニ於テハ國債ヲ起サザルモ巨額ノ收入ヲ得ルモノナリ己  
 ヲリカド氏ノ如キ大家モ實際國債ヲ起サザルモ租稅ヲ  
 増シテ以テ非常巨額ノ費用ニ充テラルヲ得ベシトノ說アル  
 程ニシテ政府ノ經常收入不足ニ因テ國債起ルコト少ナカラ  
 ン然レモ素ヨリ徵收シ得ル丈クノ租稅ヲ徵收シ尙ホ收入

足ラズシテ終ニ外國ヨリ借入ル、場合ナシトモ云ヒ難ク  
 レハ必ズ國債起ルコトナシト云フコアラズ又或ハ經常收入  
 足ラザルコアラズ已ニ租稅ヲ増シテ以テ巨額ノ收入ヲ得  
 ベキコト必然ナレハ其實際ノ收入ニ先チ國庫一時欠乏スル  
 ヲリ暫時大藏省證券ノ如キ國債ヲ募ルコトアレバ經常收入  
 ノ不足ニ因テ國債起ルコトナキコアラズ然レハ經常收入ヲ  
 増加セントテ猥リニ租稅ヲ増加セバ長シ收入不足セザル  
 コト得ルモ爲ニ國家ノ發達社會ノ進歩ヲ妨ク非常ノ損害ヲ  
 與フルガ故ニ國債ヲ起シテ以テ增稅ニ代フルコトアリ是レ  
 最モ當局者ノ注意スベキ點ニシテ增稅ト起債トノ調和ヲ  
 取ル所ナリ斯ノ如キ場合ニハ其國債ノ起ル原因ハ經常收  
 入ノ不足ニ在ラズシテ國家社會ノ發達進歩ヲ妨害スルコト



ヲ恐ル、ニ在ルモノナリ故ニ曰ク國債ノ因テ起ル基ハ必  
 シモ經常收入ノ不足ニ在リト云フベカラズ  
 以上述べ來リタルガ如ク豫算收入ニテモ經常收入ニテモ  
 其不足ニ因テ國債起ルト云フヲ得ベキモ國債ノ因テ起ル  
 基ハ必シモ豫算收入或ハ經常收入ノ不足ニ在リト斷言ス  
 ルコト得ズ然ラバ國債ノ起因ハ如何ナルモノゾト云フニ  
 一言以テ之ヲ蔽フコト能ハズ而テ之ヲ舉レバ豫算收入ノ不  
 足經常收入ノ不足及ヒ其不足ニ因テザル政治上或ハ財政  
 上ノ都合等ナリ

國債ノ物類

國債ノ起因ハ前述セシガ如ク雖モ國債トテ必シモ現金  
 ヲ借ルニ限ルモノニアラズ凡テ政府借方ニ屬スルモノハ

皆國債トナルモノナリ今之ヲ例セシニ政府某會社へ若干  
 ノ物品買上ケ代フ下附スベキモ財政ノ都合ニ因リ代フル  
 ニ公債證書ヲ發行シテ與フルカ或ハ唯延期拂トナスカノ  
 場合ニ於テハ實際現金ヲ借リタルモノニアラズ又預リ金  
 ノ如キ現金ヲ受取リタルモ素ヨリ要求シテ借入レタルニ  
 アラズ唯預ケ人ノ望ニ出ルモノニシテ但政府之ヲ返還セ  
 サルベカラザルコト猶借財ト同一ナルモノ、如キ或ハ米穀  
 ノ如キ毫モ金幣ヲ借ラザルモノニシテ國債トナルモノア  
 リテ實際現金ヲ募ラザルモ又求メテ之ヲ借入レザルモ又  
 必シモ金幣ナラザルモ苟モ政府ノ負債ニ屬スルモノハ一  
 ニ皆國債トス

國債ノ募集



然レハ國債ハ大抵募集サル、モノ多ク古今諸國ノ國債ヲ見ルニ素ヨリ十中八九ハ募集サレシモノニ係リ國債ト云ヘハ殆ト募集サル、モノ、モノ如クナレリ而テ然ラハ國債ハ何人ヨリ貸出スモノカト云フニ國債ハ何人ヨリ貸出スモノト限ルモノコアラズ雖コテモ募集ニ應スルモンハ其額ヲ申込ミ所定ノ順序ヲ經テ貸出スコトヲ得ルモノナリ然リト雖モ是レ唯理論上ニシテ實際諸國ノ法律ニ因テ或ハ内國民ノヨリ止ルモアリ或ハ外國民ノヨリ限ルモアリ又ハ内外國民トモ隨意ニ申込テ得ルモアリ日本ノ國債ノ如キハ明治十六年十二月中山道鐵道公債ノ例出デシ迄ハ其募集ニ應スルヲ得ベキ者ハ内國民ノミニ止リテ法律上外國民ノ申込ヲ禁セタリ又明治三年及ヒ同六年發行ノ

新舊外國債ノ如キハ全ク外國民ノミヨリ募集シタルモノニシテ内國民ヨリ申込ヲナセサルモノナカリシ後十前ノ中山道鐵道公債ノ時ヨリシテ内外國民トモ隨意ニ申込ムヲ許サレタリ以上述ベシガ如ク實際諸國ノ法律ニ因テ差アレハ一般學問上ヨリ云ヘハ國債ハ單ニ一國政府ガ其國民ノミヨリ募集スルモノナリトハ云ヒ難ク又外國民ノミヨリトモ或ハ必ズ内外國民ノミヨリトモ云ヒ難シ時ニ或ハ内國民ノミノヲアリ時ニ或ハ外國民ノミノヲアリ又或ハ内外國民相混ズルヲモアルヘシ唯ニ内外國民ノミナラズ政府帝室等モ債主トナルヲナキニシモアラズ普國政府ハ千八百七十年ノ役ニ佛國政府ヨリ要求シタル償金五十億法ノ中ヲ以テ公債證書ヲ買込ミ所有シタリシガ如キ



又我宮内省ニテモ公債證書ヲ所有サル、ノミナラズ金札  
引換公債ノ如キハ發行ノ時屢同省ヨリ申込マレシガ如キ  
或ハ減債基金ト稱シテ公債證書ヲ所有スルカ如キ等は等  
ノ場合ニハ政府或ハ帝室モ公債證書ノ所持人トナリ即チ  
其債主トナレリ此故ニ國債ハ内外國民ノミヨリ募集スル  
モノトモ又其債主ハ内外國民ノミナリトモ云ヒ難シ

政府ノ信用

國債ノ大概募集ニ係ルコトハ前述セレ如クナルガ其レ何ニ  
依テカ募集スルコトヲ得ベキカト云フニ是レ他ナシ政府ノ  
信用アレバナリ政府若シ全ク信用ナケレバ難カ之ニ貸ス  
モノアラフンヤ而テ其信用ノ大小ニ使テ起債力ノ大小アル  
モノニシテ恰モ一個人ガ其信用大ナレバ容易ニ巨大ノ借

財ヲナスコトヲ難シク又信用小ナレハ少小ノ借財ヲモナシ  
難キガ如ク若シ夫レ政府ノ信用薄ケレバ糶金少小ノ高利  
ヲ附スルモ國債ノ募集ニ應スルモノ少ナカルベク時ニ因  
リテハ全ク應スル者ナカルベク之ニ反シテ政府ノ信用厚  
キハ糶金少小ハ低利ナリ且國債ノ募集ニ應スル者頻  
ニシテ大ニ申込高其元額ヲ超過スルニ至ルベシ政府ノ信  
用ノ國債ニ關スル所豈其大ナラズヤ  
政府ノ信用ノ係ハル所ハ素ヨリ其國ニ止ルモノニアラズ  
廣ク外國ニモ及フモノニシテ一國ノ政府其信用薄ケレバ  
外國ハ非常ニ高利ニアラザルヨリハ其國債ノ募集ニ應ス  
ルモノアラザルベク若シ餘リニ信用薄ケレバ全ク應募者  
ナカルベシ土耳其埃及ノ政府ノ如キ之ヲ開明諸政府ニ比



スレバ其信用厚カラザルガ故ニ其國債ハ高利ナラザレバ  
 外國人ニシテ之ニ應スル者ナカリシ今兩國政府ガ負擔ス  
 ル外國債ハ大抵五分或ハ六分ノ高利ニシテ埃及ノ如キハ  
 當初ハ七分ナリシ又土耳其ハ今尙九分ノ利アリ加フルニ  
 實際ハ額面以下ニテ發行シ甚シキハ殆ト四割ノ割引アリ  
 シトアリ己ニ日本ノ如キモ明治三年ニ起シタル彼所謂舊  
 外國債ハ九分ノ利ニアラズヤ當時龍敦市場ノ利子歩合ヲ  
 見ルニ僅ニ三四分ニ過キズ若シ英國政府ニシテ其國債ヲ  
 募リメランニハ必ズヤ三分或ハ三分半ノ利ヲ以テ容易ニ  
 應募者ヲ見ルベカラランニ日本政府ノ國債ニハ其三倍ノ高  
 利ヲ要シタリシハ何ゾヤ是レ他ナシ當時歐洲諸國ニテハ  
 未ダ日本ト交際ヲ開クニ至リ未ダ甚シキヤハ日本ノ地球上

ニアルヲ知ラザルモノ往々コレアリシ程ニテ素ヨリ日本  
 一政府ノ鞏固ナルヤ否ヲ知ルモノナク加フルニ維新後未ダ  
 幾バクモナラズシテ百事齊整セザレバ果シテ國債ヲ償還  
 シ得ルヤ否ヤモ判然セズ又或ハ騒乱起リ政府再ビ變ゼン  
 モ計リ難キ等外國ヨリ見レバ尙種々危懼ノ念ヲ生ゼシム  
 ルトモアリタルベケレバ外國ニ於テハ日本政府ノ信用ハ  
 實ニ微薄ナリシモノナルベシ故ニ此信用微薄ナル政府ニ  
 貸出ハ随分危険ナルトナレバ非常ノ高利ニアラザレバ能  
 ク其國債ノ募集ニ應スル者ナケレバナリ九分ノ利ハ或ハ  
 種々ノ事情ニ因リ餘リニ高キニ過キ實際九分以下ニテ借  
 リ得ベカリシトスルモ到底龍敦市場ノ歩合ヨリハ非常ノ  
 高利ナラザルベカラザリシナラン政府ノ信用微薄ナルハ



ハ其國債ハ唯ニ利子歩合ノ高キノミナラズ其償還期限モ短カ、ラザルベカラザルモノナリ是レ最モ當然ナルトコトヲ若シ政府微弱ニシテ永續スベキヤ保シ難キト或ハ財源困難ニシテ必ズ約ノ如ク償還スルヤ否モ確認シガタキ時其他凡テ政府ノ信用微薄ナルトハ縱令高利ナルモ無期又ハ永期ナラハ其國債ノ募集ニ應スルモノナカルベシ是レ償還期限餘リニ永キトハ其國ニ政府瓦解スルヤ或ハ又騒亂起リ財政必迫ノ爲ニ約定ヲ破却スルヤモ計ルベカラザレハナリ此故ニ現今信用大ナラザル政府ノ外國債ハ大抵短期ナラザルハナシ土耳古埃及ノ外國債ノ如キハ大抵短期ニシテ然モ定期仕續ニテ毎半年ニ償還スルモノナリ看ニ此頃清國政府ヲ發行シタル外國債ノ如キハ其期限僅

五十年又ハ六十年ニシテ毎半年ニ仕續額ハ總額公費總額ニ對シテ五割ニシテ償還日本其新舊外國債ノ如キモ型ハ十五カ年乙ハ二十五カ年ニシテ利子短期ナラザルハナシ又定期仕續ナラザルハナシ嗚呼信用微薄ナル政府ノ國債ハ其レ斯ノ如シ然ルニ之ニ反シテ若シ信用増加スルハ其結果ハ直チニ現ハル、モノコシテ土耳古ノ如キハ六分ノ利ヲ以テスラ發行價格額面以下ナラザレバ應募者ナカリシニ同國ニ於テ千八百五十五年ニ起シタル五百萬磅ノ國債ハ英佛兩國其保證ニ立チシテ以テ唯四分ノ利子ナリシモ發行價格ハ額面ヨリ二分餘以上ナリシ嗚呼其ニ同國ノ國債ニアリナガラ斯ク其利子歩合ニ殆ト倍ノ差アル所以ノモノハ唯英佛兩國ノ保證アリシガ故ニ信用増加シタル



ニ依ルモノナリ信用ノ大小其關スル所其レ大ナラズヤ  
 政府ノ信用ノ如何ニ因テ國債募集ノ應否ニ關シ又其利子  
 歩合及ヒ期限仕拂方等ニ係ハルハ其レ前述セシガ如クナ  
 レハ政府ノ信用ハ國債上實ニ最大ノ關係ヲ有シ誠ニ政府  
 國債ヲ募集スルノ骨髄ト云フヘキナリ斯ク政府ノ信用ト  
 國債トノ關係ヲ喋々論シ來リタレハ是レ政府ノ信用ノ大  
 小ハ國債應募ノ多少ニ關スルヲ述ヘシモノニシテ國債應  
 募ノ多少ニ因リ漫リニ政府ノ信用ノ大小ヲ判スルヲ能ハ  
 サルモノナリ  
 己ニ政府ノ信用ノ大小ハ國債募集ノ多少ヲ判スレハ國債  
 募集ノ多少ハ政府ノ信用ノ大小ヲ判スベシト云フモ敢テ  
 不肖ナルニアラザルガ如シト雖モ然ラズ政府ノ信用ニシ

テ後薄トスルハ通例ノ利子歩合ヲ以テ募集ノ法有リ國  
 債募集スルノ國債ハ其應募者ノ必ス多ナルベケレハ唯國債應募  
 厚薄ナルハ其應募者必ス多ナルベケレハ唯國債應募  
 ノ少ナキヲ見テ政府ノ信用薄シト認ムベカラズ何トナレ  
 ば政府ノ信用ノ薄キニアラザルモ或ハ人民ニ應スルノ資  
 金ナキカ或ハ債主ニ於テ其資本ヲ他ニ投用スル方利益多  
 キハ應募者少カルベケレハナリ是レ政府ノ信用厚キニ  
 モ拘ハラズ應募少キ場合ニシテ則チ漫リニ應募ノ多少ヲ  
 以テ政府ノ信用ノ大小ヲ判定スベカラザル所以ナリ  
 政府ノ信用ノ緊要ナルヲ述ベタレハ是ヨリシテ其信用  
 ハ如何ニシテ得如何ニシテ厚大トナルヤヲ講述センニ其  
 基ク所畢竟一ニ歸ス曰ク政府約定ヲ履行シ國債ヲ償還ス







又、是迄國債ノ償還ヲ怠リシモ政府改良ニ際シ或ハ財政  
 官ノ更代ニ因リ後來其償還ヲ怠ラザルヘシト確認シ得ル  
 程ナレバ其信用大ニシテ新債ノ募集ニ應スルモノ多カル  
 ヘシ是故ニ新ニ募ル國債ニ關スル政府ノ信用ノ大小ハ畢  
 竟ハ後來ノ國債ノ償還如何ニ因ルモノニシテ必ズヤ既往  
 ノ國債償還ニ關スルモノニアラズ然リト雖モ通例ノ場合  
 ニ於テハ既往ノ償還如何ニ因テ以テ後來新債ノ償還如何  
 ナリ判メ得ルモノナレバ素ヨリ蓋シ關係ナシト云フヘカ  
 大古來約定ヲ破ルテ信用ヲ失ヒシモノ往々ニシタルモ十  
 四世紀最初ノ約定ヲ破リ爲ニ信用ヲ失ヒシガ如キ又西班  
 牙政府ニ約定ヲ守ラザルニ因リ大ニ信用ヲ損セシ等々例  
 多クハ平素償還ヲ怠ラザルニ政府ノ信用ヲ大ニ損セシ國

家危急ノ秋ニ望ミテ容易ニ國債ヲ募集スルヲ得ル程  
 甚ナリ世ノ財政ニ從事スル者宜シク務メ差違ヘカラス

國債ト私債トノ差違

已ニ政府モ一個人ノ如ク負債スルモノニシテ其負債ハ則  
 チ國債ナルヲ述ヘヌレハ是ヨリ進テ政府ノ負債即チ國  
 債ト一個人ノ負債即チ私債ト其間ノ差違ヲ論セントス  
 國債ト云ヒ私債ト云フモ其負債ナルヲハ素ヨリ同一ナレ  
 其性質ニ於テハ大ニ差違アルモノナリ今一々之ヲ列舉  
 セン

第一 一個人ノ負債ハ時ニ或ハ起サ、ルモ他ニ融通ノ途  
 ナキニアラス抑モ一個人ハ臨時ノ費用ヲ要スル時ハ殊ニ  
 他ヨリ借財セサルモ其財產ヲ賣テ金作スルヲ難キニアラ



又例へハ其邸宅衣服調度等ヲ賣ルハ願ル通常ノコトナシ  
 非常ノ高價ナラザレハ大抵速ニ賣却スルヲ得ルモノナリ  
 然ルニ政府ノ負債ニハ斯ノ如キ融通ハ爲シ能ハザルコト  
 シテ政府非常ノ出金ヲ要スルニ當テハ一個人ノ如ク其邸  
 宅衣服調度等ヲ賣ルガ如キハ爲スコト能ハズ政府若シ諸  
 館舍或ハ其調度ヲ賣却セバ爲ニ非常ノ不都合ヲ生ゼン  
 ハ素ヨリ曝々ヲ俟ズ又政府ガ要スル金額ハ素ヨリ一個  
 人ノ如ク少小ニテサレバ諸館舍或ハ其調度ヲ賣却スル  
 モ以テ費途ニ充ツルニ足ラズ然レモナラズ官有財産山野  
 森林等ノ如キハ良シヤ之ヲ拂下ケントスルモ其餘リニ廣  
 大ナルモノサレバ變易ニ買テ需少ナク到處急遽ノ間ニ合  
 合テ故ニ有レバ点々見ルモ政府ハ一個人ノ如ク其財產

ヲ賣リ以テ負債ヲ起サスシテ一時ノ融通ヲナスヲ得ズ  
 第二 政府ノ負債ニハ時トシテハ國民ヨリ強ヒテ借入ル  
 、モノアリ其方法ハ種々アルヘケレモ大抵國民ノ財產ニ  
 幾分ノ割合ヲ以テ出金ヲ賦課スルモノニシテ租税ノ如キ  
 モノナリ唯其異ナル所ハ租税ナラバ償還セザレモ負債ナ  
 ルガ故ニ他日償還シ又年々其利子ヲ拂フヘキコトアリ是レ  
 所謂壓制借入ナルモノニシテ昔時澳國班國佛國等ニ於テ  
 盛ニ行ヒタルモノナリ是レ最モ一個人ノ負債ト違フ所ニ  
 シテ一個人ハ斯ノ如ク強ヒテ他人ヨリ借入ル、コト能ハズ  
 第三 一個人ノ負債ニハ自ラ其證書ヲ以テ一國法律上ノ  
 通貨トスルコトナシ今銀行紙幣ノ如キモノアリテ恰モ通貨  
 ノ如ク用サラル、モ其大本ヲ推セバ唯一國法律上ノ通貨



ヲ代表スル一箇ノ負債證書ニ止リテ敢テ法律上ノ通貨ト云フモノニアツズシテ何時ニテモ其代表スル法律上ノ通貨ト引換ザルベカラズ良シ時ニ或ハ法貨トナルコトナキニアラザルモ銀行自ラ之ヲ爲スモノニアラズ政府ノ准許ニ因ルモノニシテ決シテ最初ヨリ自ラ其負債證書ヲ法貨トナスコトナシ然ルニ政府ノ負債ニハ自ラ其證書ヲ全ク法律上ノ通貨トナスコトアリ是レ政府ガ發行スル不換紙幣ノ謂ニシテ不換紙幣ナルモノハ全ク政府ノ負債ニテ他日償還スヘキ義務アルノミニシテ銀行紙幣ノ如ク何時ニテモ引換ユベシト云フモノニアラズ

第四 政府ノ負債ニハ時トシテハ其要スル高ヨリモ多額ノ申込ヲナシ爲ニ割戻ヲナスコトアリ是レ現ニ我國中山道

鐵道公債ノ如ク其第一回申込高ニテモ元高ヨリ殆ド倍ノ超過アリヤガ如キコトニシテ一個人ノ負債ニハ如斯其要スル高ヨリ多キ金額ヲ申込ミ之ヲ割戻スガ如キコトナシ

第五 一個人ノ負債ハ其債主大抵一人ニシテ時トシテハ數人ナルコトキコシモアラザレハ政府ノ負債ノ如ク其債主實ニ許多ナルコトナシ國債ハ一會社或ハ一豪家ヨリ一手ニ借入ルコトナキニシモアラザレハ大抵公債證書ヲ發行シテ廣ク債主ヲ募ルモノナレバ其債主ノ許多ナルヲ以テ常トス

第六 政府ノ負債ハ其金額ヲ募集スルノ後其使用ヲ詳細ニ債主等國民一般ニ示サザル可ラザレハ一個人ノ負債ハ縱令之ヲ有益ノ事ニ使フモ又無益ノ事ニ用ヰルモ其使用



第一々他ニ示スヲ要セズ  
 第七 一個人ノ負債ハ昔有期ニシテ非常ニ永遠ナルモノ  
 ナシ然レモ政府ノ負債ニハ所謂永遠公債ノ如キモノアリ  
 テ其期限ハ何時ナルヤヲ極メズ百年トナルモ二百年トナ  
 ルモ債主ニ於テ之ヲ請求スル權ナキモノトシ其有期ノモ  
 ノヨテモ九十年五十年三十年等ノ期限ニシテ随分永キモ  
 ノアリ且負債者タル政府ハ一個人ヨリ其命數頗ル永ク一  
 個人ハ尋常人間ノ命ヲ以テ終ルモノニシテ百年ノ壽ハ實  
 ニ稀ナル程ナレモ政府ハ國家大變アラザル限リハ依然ト  
 シテ終ラザルモノナリ故ニ政府ノ負債ハ一個人ノ負債ヨ  
 リ其期限永キモノトス  
 第八 政府ノ負債ハ之ヲ償還スルニ一個人ノ如ク其財產

ヲ賣リ或ハ非常ニ節儉ヲ致シ以テ之ニ充ツルヲ能ハズ政  
 府館舎調度等其財產ヲ賣却スルヲ能ハザルハ已ニ前述セ  
 シガ如クニシテ又其經費ニモ非常ノ節儉ヲ致スヲ得ズ例  
 ヘハ若シ非常ノ節儉ヲ爲サントテ大ニ經費ヲ減スレバ官  
 吏モ多分免職セザルヘカラズシテ事務上大ニ不都合ヲ來  
 シ警察モ充分ナルヲ能ハズ教育モ盛ナラズ或ハ軍備ノ衰  
 頽ヲ來スガ如キ其他舉テ數フベカラザル不都合ヲ生シ良  
 シヤ國債ヲ償還スルモ爲ニ數倍ノ害ヲ蒙レバ到底政府ノ  
 經費ニ非常ノ節儉ヲナスヲ能ハズ必ズヤ新稅ヲ起スカ舊  
 稅ヲ重フスルカ新ニ歳入ノ途ヲ開カザルヘカラス之ニ反  
 シテ一個人ハ随分邸宅ヲ賣リ衣服ヲ典シ飲食等ニ節儉ヲ  
 致シ非常ノ不都合ヲ生セズシテ負債ヲ返還スルコトヲ得



ザルニアラズ

第九 一個人ノ負債ハ其額モ政府ノ負債ヨリハ少ナク又  
之ヲ返還スルモ別段租稅ヲ重フスルガ如キナケレバ爲  
ニ國家ニ損害ヲ與フルコトナシ然ルニ政府ノ負債ハ之ヲ起  
スニ當リ其額巨大ナレバ通貨市場ニ大ナル影響ヲ及ホス  
コトアリ又之ヲ償還スルニモ前述セシ如ク新稅ヲ起スカ舊  
稅ヲ重フスルガ新ニ歳入ノ途ヲ開カザルヲ得ズ若シ新稅  
ヲ起スカ舊稅ヲ重フスルカ政府租稅ヲ増加セバ國民大ニ  
苦ミ續々歎願哀訴等ヲナシ或ハ終ニ騒動ヲ惹起スニ至  
ルヘク又幸ニシテ右等ノ事ナキニモセヨ爲コ百般事業ノ  
發達ヲ妨ク或ハ爲ニ資本ノ外出ヲ致ス等國家ニ損害ヲ與  
フルコトアリ

第十 政府ノ負債ハ其債主ニ權ナク負債者ニ權アリ政府  
ハ立法ノ主權者ナレバ縱令債主ニ不満足アルモ之ヲ訴フ  
ル裁判所ハ即チ負債者ナル政府ナレバ長シ政府ガ約定ヲ  
履行セズ其負債ノ償還ヲ爲サレルモ之ニ身代限ヲ命スル  
ガ如キ裁判所ナク債主無理不正ナル取扱ヲ蒙ルモ干戈ニ  
訴フルコトアラズシハ之ヲ訴フルニ所ナシ一個人ノ負債ハ  
乃チ然ラズ負債者若シ約定ヲ履行セズ債主不満足ナルコ  
トアルキハ進ブ之ヲ裁判所ニ訴フレバ其曲直ヲ判シ之ヲ法  
律ニ照ラシテ身代限ヲ命スルコトヲ得テ毫モ負債者ノ無理  
不正ノ壓制ニ默從セザルモノトス  
國債ト私債トノ間尙少小ノ差違アレモ略以上列擧セシヲ  
以テ其同シク負債ナルモ亦差違アルコトヲ見ルコト足ルヘシ



國債ト私債トノ差違ハ前段己ニ述ヘタレバ尙一步ヲ進メ  
 テ國債ト租税トノ區別ヲ辨セン然レモ下條載スル所ハ素  
 ヲリ唯其性質ノ區別ヲ述フル迄ニシテ兩者ノ利害得失等  
 ハ更ニ第二章ニ於テ論究スヘシ  
 國債ハ之ヲ償還スルニ到底年々幾分ノ租税ヲ以テスルモ  
 ノナレバ之ヲ募集スルハ恰モ有力者ヲシテ一般國民ニ代  
 リ將來ノ租税ヲ一時ニ前納セシムル者ノ如ク又所謂壓制  
 借入ノ如キニ至テハ強ヒテ應分ノ出金ヲ爲サシムルモノ  
 ナレバ其性質尙更租税ニ彷彿タレモ素ヨリ國債ト租税ト  
 ハ其間區別アルモノナリ乞フ今逐次之ヲ左ニ述ヘン  
 第一 國債ハ將來ノ租税ヲ一時ニ前納スルモノ、如クナ

リ以恰モ租税ノ如ク然レモ國債借入ノ如キモノト雖モ之  
 ノ償還セザル債務ヲ加テモ其採利子ヲモ拂フモノナ  
 リ然ルニ租税ニ至テハ一度政府へ上納スレバ永世之ヲ償  
 還スルニナク唯ニ之ヲ徵收スルノミナリ  
 第二 租税ハ國民タルモノ何人タルヲ問ハズ苟モ賦課サ  
 レ、ニ於テハ到底之ヲ上納セザルヘカラザルモノニシテ  
 若シ之ヲ情リ或ハ上納セザルモハ法律ヲ以テ處分セラレ  
 終ニハ公賣處分ヲ受クルニ至リ壓制ヲ以テ上納セシメラ  
 ル、モノナリ之ニ反シテ國債ハ壓制借入ヲ除クノ外ハ壓  
 制ヲ以テ上納セシムルモノニアラズシテ何人ニテモ募集  
 ニ應セントスル者ハ其望丈ケノ額ヲ申込ムヲ得ヘク又募  
 集ニ應スルヲ欲セザル者ハ一錢ヲ以テモ出金スルヲ要セ



大凡ノ國民ノ募集ニ應スルモ屬セザルモ出金スルモモザ  
 ルモ其好ム所ニ任セ尠モ法律上壓制ヲ以テスルヲナシ  
 第三 國債ハ前條ニ於テ述ヘシカ如ク必ズ國民一般ニ賦  
 課シテ出金セシムルモノニアラズ又其出金スヘキ人モ如  
 何ナル者ト限ラズナク何人モテモ自由ニ申込ムヲ得ヘク  
 其意ヲ違フザレバ素直ニ出金スルニ及ハザルモノナレバ  
 出金者ハ必ズ國民一般ニハアラスシテ其義務ニ過キ又  
 其如何ナル者ト限ルニモアラス或ハ國民中一人ノ出金者  
 ナキニモ至ルニケレド租稅ニ至リテハ其賦課スル所國民  
 一般ニ係リ誠ニ其人ノ如何ナル者ト限レルモノニシテ國  
 民中一人ノ上納者ナシト云フガ如クアラス  
 第四 租稅ハ内國ニ限り賦課スルモノナラズ外國ヨリ徵

收スルモノナラズ凡國債ハ大抵内國ノ國債ニ募集スルモノ  
 ナラズ尠シク外國ヨリ募集スルモノナラズ尠シク外國ヨリ至テ  
 ハ漸ク盛ニシテ國債ノ額巨大ナルニ至ルモ外國ヨリノ出  
 金ヲ募集スルモノナラズ  
 第五 國債ハ之ヲ募集シ若シ其申込高其定額ヲ超過スル  
 所ハ之ヲ割戻スモノナレド租稅ハ之ヲ徵收スルノ後總合  
 算額ヨリ超過スルモノ取テ納稅者ニ割戻スナク幾バク  
 ニテモ上納スルモノ取ムルモノナリ  
 第六 租稅ハ其賦課セラレシ額ヲ上納スルマデニシテ別  
 ニ保證金ヲ納メ假令書ヲ渡ス等ノヲナク上納後モ元利金  
 拂下等ノ手數ナクシテ國債ハ之ヲ募集スルニハ先シ條例  
 手續等ヲ發布シテ大抵公債證書ヲ發行シ之ヲ賣出シ保



證金ト稱シテ俗ニ所謂手附金若干ヲ前納セシメ或ハ數回  
 轉拂ノ如キ一々假證書ヲ渡ス等種々ノ手數ヲ要スルモノ  
 ナリ又募集後モ期限ニ至レバ元利金ヲ拂下クル等ノ手數  
 ナリ  
 第七 國債ハ大抵其證書ヲ盛ニ賣買スルモノニシテ應募  
 者中ニハ其間ニ利ヲ占メントテ申込ヲナスモノ少ナカラ  
 ス時ニ因レテ申込價格ヨリ非常ノ高價ヲ以テ賣買スルコ  
 ノアリ又非常ノ低價ナルコトアリテ盛ニ取引スルモノナリ然  
 ルニ租稅ハ一度之ヲ上納スレバ其證書ヲ公債證書ノ如ク  
 賣買スルコトアリ  
 第八 租稅ハ一度之ヲ徵收スルハ之ヲ償還スルコト及バザ  
 レバ別ニ其償還ニ充ツヘキ歳入ノ途ヲ開クヲ要セズ故ニ

國債ノ如ク募集後新稅ヲ起シ舊稅ヲ重スル等ノコトナシ之  
 ニ反シテ國債ハ大抵之ヲ募集スルノ後ハ其償還ニ充ツル  
 爲メ新稅ヲ起スカ舊稅ヲ重スルカ兎ニ角新ニ歳入ノ途ヲ  
 開カザルヘカラズ

第九 國債ハ募集後其償還ノ爲メ租稅ヲ増シ永ク後世ニ  
 及フコトアレバ現在ノ負擔ヲシテ未來ニ課セシムルコトアリ  
 租稅ハ乃チ然ラス一時ニ國民ヨリ徵收シ之ヲ償還スルコ  
 及バザレバ現在ノ負擔ヲ現在ノ國民ニ課スルモノニシテ  
 國債ノ如ク後世ノ國民ヲシテ負擔セシムルコトナシ  
 第十 租稅ハ政府之ヲ増減スルハ何レニモスルモ立法ニ屬  
 スルモノニシテ行政權ヲ以テ左右スルコト統ハザレバ國債  
 ハ政府物品ヲ買上クルモ其代價ヲ拂フコト能ハスシテ短期



拂トナスガ如キ或ハ佛國ノ如ク軍ニ大藏卿ノ許諾ニ俟テ  
暫時國庫ニ預リ入ル、モノ又ハ中央出納局ノ手形ノ如キ  
等其大藏卿ノ行政權内ニ於テ國債起ルコアリ  
國債ト租稅トノ區別ハ略以上掲ゲシガ如クニシテ此ノ他  
尙多少ノ差アルヘケレド頗ル要用ナルコモアラザレバ此  
ニ之ヲ略ス



拂トナスガ如キ或ハ佛國ノ如ク單ニ大藏卿ノ許諾ニ依テ  
 暫時國庫ニ預リ入ル、モノ又ハ中央出納局ノ手形ノ如キ  
 等其他大藏卿ノ行政權内ニ於テ國債起ルコトアリ  
 國債ト租稅トノ區別ハ略以上掲ゲシガ如クニシテ此ノ他  
 尙多少ノ差アルヘケレド頗ル要用ナルニモアラザレバ此  
 ニ之ヲ略ス

山口縣士族

筆記兼出版人

安達秀實

東京平民

全 奈良良勇 敢







040535-001-8

特17-286

国債論

土子 金四郎/述

M18

BDE-0156

